

## 中央会事業報告

# 『男性の育児参加促進事業』への取り組み

山梨県中小企業団体中央会 会長 内藤 悦次

社会で働く人にはそれぞれ生活の基盤となる家庭や家族があり、男性女性にかかわらずそこで果たすべき責任を持っており、生き生きと働きその能力を遺憾なく発揮できる職場であるためには、仕事と家庭をバランスよく両立できる環境を整えていく必要があると思います。最近よく耳にする『ワーク・ライフ・バランス』は以上のような考え方であり、時代の流れであります。

山梨県中央会は、平成 19 年度に(財)21世紀職業財団より「男性の育児参加促進事業実施事業主」の指定を受け、本年度まで2年間にわたり男性職員が育児参加しやすい職場風土づくりに向け、職場環境の改善および意識改革に取り組んで参りました。

昨年の金融破綻から始まる不況で雇用不安は拡大しております。この不況下だからこそ経営資源としてのヒトを重視すべきであり、不況を乗り越えるために、就業規則の整備や効率的な人材育成制度を含めた働きやすい職場風土改革を行うことは、職員の働く意欲、経営効率を高め、ひいては企業の成長となります。また将来的にもこの働きやすい職場環境は新規人材の企業を選ぶ為のものさしとなってくると考えられます。

会員の皆様におかれましても業務効率アップと有能な人材確保のために、いきいきと働くことが出来る職場環境整備に取り組んでみてはいかがでしょうか。